

懐風館高校 令和6年度第1回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年6月26日(水) 14:00~16:00

2 出席委員 5名

木村委員 黒木委員 松村委員 阪本委員 横尾委員

3 授業見学

1年生 現代国語及び日本語指導(抽出)

2年生 論理表現Ⅱ 3年生 数学演習β を出席委員全員で見学

4 協議事項

第1号議案 会長(議長)の選出と職務代理の指名

会 長:木村 雅則 氏

職務代理:黒木 悟 氏 とする。(案)

⇒賛成5・反対0により、議決。

第2号議案 令和5年度「学校経営計画・評価」について

⇒賛成5・反対0により、議決。

第3号議案 令和6年度「学校経営計画」について

⇒賛成5・反対0により、議決。

5 報告及び協議記録 □・・・学校運営協議会委員 ▲・・・事務局

報告:<令和6年度「学校経営計画」(案)について>

▲令和6年度学校経営計画の進捗状況及び学校の概況について(校長より)

これまでのところほぼ経営計画通り教育活動が行えている。ただ、不登校生徒が増加傾向にあり、ケース会議やカンファレンス会議等での迅速な対応と中高連携を通じた支援の取組みを一層進めていかなければならない。

□全国的に見ても不登校生徒は増加しており、今後の日本の教育の大きな課題である。懐風館高校においてもスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用しながら教育相談体制のより一層の充実を図ってほしい

□日本語指導の抽出授業では、マンツーマンで丁寧な指導をされていたが、専門の教員が指導しているのか。

▲日本語指導専門の教員はいない。先ほどの授業では国語科の教員が独自で教材を作成して指導している。少数言語での日本語指導者は中々見つからない苦しい現状がある。

協議：＜学校力を高めるための取組みについて＞

□授業を見学させてもらったが、全学年で生徒たちは落ちついて授業を受けており、先生方もICTを活用するなど指導に工夫されていることが見て取れた。生徒と保護者のアンケート結果を見ても、学校生活や行事、授業の満足度が高く、これまでの取組みの成果が出ていると評価できる。地域との連携に関する取組みは進んでいるか。

▲これまで行ってきた中学校への出前授業や部活動での交流のほか、地元小学校との交流を進めている。具体的には、大谷選手が全国の小学校に配ったグローブを使い野球部部員と一緒に野球を楽しむイベントやバレーボール部員が小学生を指導しながら体を動かすことや球技の楽しさをともに味わうイベントを実施している。これらの活動は羽曳野市の広報誌でも紹介された。

□外部検定の取組みと実施状況について伺いたい。

▲英語検定、漢字検定、パソコン検定などを実施している。近年は各種検定の合格状況があまり芳しくなく、実施の是非を問う意見もある。

□外部検定は学校経営計画の中でキャリア教育の一環として位置付けられている。今の懐風館の生徒の様子を見ていると、検定に向けた学習や合格することによる自己達成感や自己優位感を育むことが大切だと思う。生徒の層が変化してきている中で、検定に臨むモチベーションや合格率のアップをめざした授業や補講などの取組みを進めてもらいたい。

□懐風館高校は南河内を中心とした地域に根ざした学校であり、これからも地域との交流を大切にしながら生徒をはぐくみ、地域とともに歩んでいくことを大きな柱とした教育活動を展開されることを期待している。